



## 学びの拠点 Fourth Placeとは

学校に行きづらい、または通信制高校に通っていても日中の居場所がない高校生などが自由に滞在できる居場所です。同じような環境の同世代や、地域の多世代の人々とも交流ができます。

自宅と学校以外の場所で人とのつながりを持つことは、社会との大事な接点になります。そのつながりから自分のやりたいことを見つけたり、思ってもみない考え方を発見したり、人に出会い自分の考えを育てていくことは、学校の勉強以外に生きていくうえで必要な力でもあります。

学びの拠点 Fourth Place は、そういった力を育むための場所です。そのため、積極的な学習支援はしませんが、高校生・大学生が誰でも自由に滞在できる場所の提供と、人と交流し、つながるための取り組みをしてきました。

**特定非営利活動法人 長野県NPOセンター**



本事業は、令和4年度(補正予算)独立行政法人福祉医療機構「社会福祉振興助成事業」の助成を受けて実施しています。

# 安心できる 居場所の提供

2023年度  
のべ利用者 282人

21年度445人・22年度576人・23年度282人  
累計利用者のべ1,303人

- 登録者数  
21年度8人・22年度4人・23年度4人  
(登録はしていないけれど定期的に通ってきている学生もいました)
- 相談数  
21年度17件・22年度30件・23年度40件



一人で過ごす時もあれば、来ていた人と卓球をしたり、UNOをしたり、待ち合わせ場所として使う人もいます。時にはホワイトボードに質問がかけられて、それに答えることも。自由にのんびりと過ごしています。



当初通ってきていた若者たちが、進学したり、自分のめざすところを見つけたり、通ってこなくなった人もいます。「どうしているかな？」と思っていると、ふらりと遊びに来てくれたり、「近くまで来たから」、「電車の待ち時間に」と顔を出してくれたりするのがうれしいです。





# 2023年度 の取組



## 花の寄せ 植え体験

春と秋に「花の寄せ植え」を行いました。  
 普段は土をいじることがない学生たち。やや抵抗感を示しながらの体験でした。水はけがよくなるよう鉢底にネットを敷いてから小石を並べる、土に肥料を入れてから植え込む、といったポイントをシニアボランティアさんから聞いて感心していました。「どんなことにもコツややり方があるんだなあ」と、つぶやいていたのが印象的でした。  
 鉢植えは拠点の入り口に置いて、毎日学生を迎えています。



## 久しぶりの先輩

夏休みや年末年始、春休みに、帰省してきた卒業生たちが「ただいまー！」と言って顔を出してくれます。近況を知らせてくれるのはもちろん、たまたまそこにいた後輩たちと話し、後輩がちょっと先の自分のことを相談したりする光景を見るとうれしくなります。「行きたいなと思った時に気軽に行ける場所、帰れる場所になっていることは大切なんだなあ」と実感するできごとです。





# 毎月の ごはん 会



コロナ禍で実施できていなかった「月1ごはん会」を、2023年度はしっかり開催できました。みんなのリクエストからメニューを決めて、いっしょにつくって食べ、片付けまでやるという試みです。

自分が食べたいものをはじめ、大人数でないと作れないメニューや、大学の課題として料理を作りたいという若者も現れ、郷土食の「おやき」もつくりました。

普段の生活では、親が食事をつくってくれるため「包丁をあまり持ったことがない」という若者も多く、実際に野菜を切ったり、調理する工程を学び、楽しんでいる姿が印象的でした。これを機に「家で食事づくりをはじめた」という人もいました。

また、「食事をつくれることが自己肯定感や自信につながった」という若者もいました。みんなで食事をする機会を望む声は多く、「食事を共にする」ということの大切さを伝えながら、今後も機会をつくっていきたいと思います。



4月15日 カレー

5月27日 タツカルビ



6月23日 餃子、春雨サラダ



7月21日 ロコモコ丼

8月19日 おやき



9月16日 おいなり、豚汁

10月28日 焼きそば



11月18日 いろいろおにぎり

12月28日 ミルフィーユ白菜、餃子

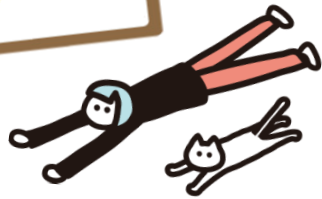
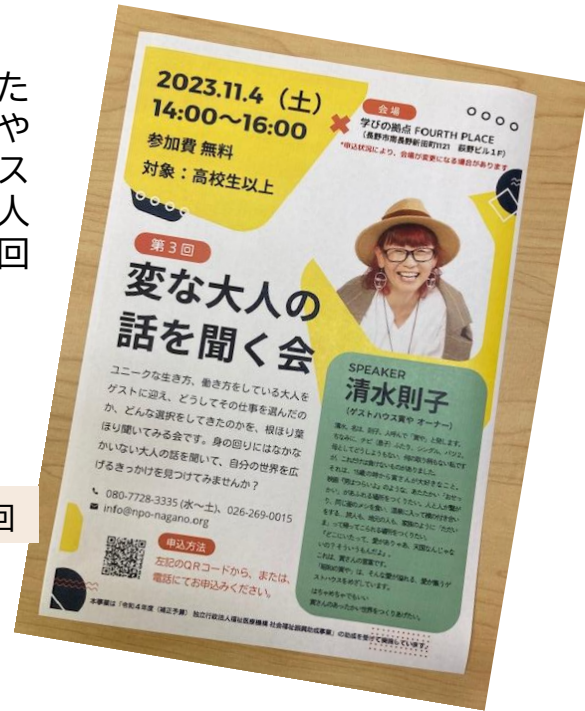


3月16日 焼肉、ピーマン肉詰め、焼きそば





2023年度にスタートした新企画。ユニークな生き方や働き方をしている大人をゲストに迎えて話を聞く「変な大人の話」を8月から6回開きました。



第3回



第1回



普段なかなか出会えないような大人に「どうしてその仕事を選んだのか?」、「どんな選択をしてきたのか?」など、根掘り葉掘り話を聞いてみるというイベントです。対象は高校生以上。特に、自分のこれからを考えている若者が大人たちの話を聞くことで自分の世界を広げるきっかけのひとつになることを目的にしました。



第2回



ゲストによって雰囲気が大きく変わるのが面白かったです。参加した学生からは「人の一生にはいろんな転機があって、人との関わりが大事」、「自分で動かないと面白いところへは行けないと思った」、「あの人みたいには頑張れないかなあ」などの声が聞かれました。

また、「毎回分野の違う人が来るので面白い」、「人数が少ないのでしっかり話が聞けて良い」などの声も聞こえました。

若者たちが少し先の未来で「あの時こんな話を聞いたな。自分にもできるかな」と考えるきっかけになってくれたら大成功です。



第4回



第5回



第6回



- 第1回 8月 5日 北村 健一さん(木こり、炭焼き)
- 第2回 9月 9日 田中 一樹さん(寄付の本舎 ほんのきもち主宰)
- 第3回 11月 4日 清水 則子さん(ゲストハウス寅屋)
- 第4回 1月13日 平松 亜衣子さん(日本大使館専門調査員ノルウェー担当)
- 第5回 2月17日 古越 武彦さん(長野県災害時支援ネットワーク担当)
- 第6回 3月 9日 松木 うさぎさん(りんご農家、松木武久農園営業担当)

# 年末は大掃除



12月28日は恒例の大掃除と、一年お疲れさまでしたの会。集合して顔合わせをしたら、分担を決めて掃除を開始。溜まっている段ボールをまとめ、トイレをきれいに磨く。窓は外と中からきれいに拭きあげて、キッチンも排水溝まで磨き上げました。

お昼は、みんなのリクエストで「餃子」。前にも作ったことがあるけれど、「包むのが楽しい」と「みんなでできるから」と再度挑戦。「あったかいものもほしいよね」と、ミルフィーユ白菜も作りました。

そしてデザートは、今年できなかったクリスマス会の代わりに、マフィンデコレーション！好きなようにトッピングして楽しみました。



3月は別れの季節。卒業生のための送別会を行いました。今年の対象者は2名。お祝いのお花束を渡し、新生活への抱負を語ってもらいました。「帰ってきたらまたここに来ますね」と言ってくれるのが本当にうれしい。みんな気をつけて行ってらっしゃい！

# 卒業おめでとう





# 若者たちの生きづらさを考える意見交換会

2022年10月、若者たちの現状を広く知ってもらい、大人たちができることはなにかを考えよう、と学びの拠点が企画・主催した「若者たちの生きづらさについて考える意見交換会」。

2023年は、9月と12月の2回にわたって実施しました。講師は「hanpo」代表の草深将雄さん。若者の居場所を運営している経験から、「比較される中で生きる若者の想い」、「生きづらさを消費されることの苦しさ」といった若者の声を伝えてくれました。

参加者は話を聞くだけではなく、ワークショップ形式で意見を出し合い、話し合う中で、若者が抱える苦しさをひとつごとではなく、自分事として捉えて「では、なにをするのか？」と、実際の活動へつなげていくことを考えました。

しかし、回を重ねるごとに増えてきたのは「若者の生きづらさは若者が原因でなく、先を生きる大人が生み出しているところが大きい」ということ。なかなか難しく、大人にとっては頭を抱えることでもありますが、これからも若者とともに意見を交換しながら、考えていきたいと思えます。



- 日時  
**2023.12.9 (土)**  
13:00~16:00 (開場12:30)
- 会場  
長野市勤労者女性会館しなのき  
視聴覚室  
(長野市百穂百町1481-1)
- 定員：50名(先着順)
- 参加費：無料
- 申し込み方法  
下の二次元コードからお申し込みください。または **026-269-0015** までお電話ください。  
(申込締切：12/6)

学校に行きづらい学生、特性をもつ若者、ひきこもりの若者など、10~20代の若者が抱える「生きづらさ」に悩むをあて意見交換会です。  
今年9月に2回を実施し、3回目となる今回は、反響に引き続きゲストにhanpoの草深将雄さんをお招きします。また10~20代の若者の生の声を基盤に交換で聞きながら、苦しみを取り除く環境や、大人の関わり方についての課題、変化などについて考えます。  
ひとりでも多くの方に「若者が抱える生きづらさ」が社会全体で取り組む課題であると理解していただくための会となります。  
期間参加される方ももちろん、初参加の方も、ぜひ意見を交換しましょう！

《お問い合わせ》  
〒387-0034 長野市大字南1(1029-1)  
特定非営利活動法人 生涯NPOセンター  
電話  
026-269-0015 (本口)  
026-729-3335 (土・土曜13:00~16:00)  
メール：info@npo-center.jp

主 催：学びの拠点 Fourth Place  
(026) 269-0015 (長野市生涯学習NPOセンター)  
共 催：社会福祉法人 長野市生涯学習NPOセンター

第一回2022年10月8日(土)  
参加者27名+オンライン29名  
会場：長野市生涯学習センター TOiGO

第二回2023年9月30日(土)  
参加者：30名  
会場：長野市生涯学習センター TOiGO

第三回2023年12月9日(土)  
参加者：20名  
会場：長野市勤労者女性会館しなのき



Webサイト  
[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/manabinokyoten](https://peraichi.com/landing_pages/view/manabinokyoten)

これまで支えてくださった支援者の皆さまへ

「こんな場所があったらいいね」との思いから実現した「学びの拠点 Fourth Place」。高校生・大学生が自由に滞在でき、交流し、つながる場所として2021年6月9日にオープンしてから足かけ4年。大変心苦しいですが諸般の事情により、24年3月末をもって閉鎖しました。この間、企画から準備、運営、そしてクラウドファンディングなど、さまざまな形でご協力・ご支援くださった皆さまに厚く御礼申し上げます。

居場所としての機能は、長野市のもんぜんぷら座3階に設置された「ながの若者スクエア ふらっとb」へ移行しました。引き続き、誰でも自由に安心して滞在できる場所として、地域や同世代・多世代の人と交流し、つながるための取り組みを重ねています。「誰かと話したい」「家と学校以外で居場所や友だちがほしい」と思ったら、気軽に訪ねてみてください。



ながの若者スクエア「ふらっとb」のオープンを伝えたナガクル記事  
←こちらから



「ふらっとb」公式  
Webサイトはこちらから→

また、「若者たちの生きづらさについて考える意見交換会」は、今後も継続していきたいと考えています。ご支援くださいました皆さまに感謝するとともに、どうぞ今後とも当法人への継続的なご支援をお願いいたします。

## 学びの拠点 Fourth Place (フォースプレイス)

〒380-0835 長野県長野市大字南長野新田町1121 荻野ビル1F

### 【運営主体】特定非営利活動法人 長野県NPOセンター

〒381-0034 長野県長野市高田1029-1 TEL:026-269-0015

メール: [info@npo-nagano.org](mailto:info@npo-nagano.org)

Webサイト: <https://www.npo-nagano.org/>